

ちよっと ひといき... 茶ぐわくゆんたく

154



豊かな水と共にあった伊佐

戦前の伊佐は、戸数86戸の集落でほとんどが農家でした。豊かな水に恵まれた環境のなか、主にさとうきび・さつまいも・水稻などの農作物を育てていました。

左上の写真は、1954(昭和29)年頃の大山から見た伊佐方面です。建物も少なく、道路にはまだ信号機や標識もついていません。左手奥には、美しい白浜で有名だった伊佐浜も見えます。



▲大山から伊佐方面を望む 1954(昭和29)年頃

かつて伊佐には三つの湧水があり、そのうち「ウブガー」「ウブガー」は去る大戦で米軍の道路建設により、現在の国道58号の真下に埋められてしまいました。

埋められたこれらの湧水は、戦後、区民の努力によって現在の場所に復活しました。伊佐の豊かな水は、今では湧水からそのまま「ふんしんせせらぎ通り」へと流れ、区民のいこいの場として利用されています。

現在、旧伊佐三叉路の北側には十字路ができ、でいご通りから58号を那覇向けにぬける道路として利用されています。また、伊佐区は西海岸の埋立てで市街地化が進み、建物が多く建ち並びました。

かつての田園風景は姿を消し、街並みもすっかり変わりましたが、湧水は昔と変わらずコンコンと湧き、豊かな恵みとやすらぎを私たちに与えています。



▲現在の伊佐三叉路付近 2017(昭和29)年1月撮影

はくぶつかんの部屋 36

総合学習のお手伝い！出前講座

私たち博物館では、教育普及の一環として社会科見学や総合学習のお手伝いをしています。当館で所蔵する民具などの収蔵品を実際に見て、触れて、体験することで、子どもたちが昔のくらしや地域の歴史に興味を深めてもらっています。市内全小学校にご利用していただいているが、なかには当館から遠方のため授業時間がとれない、交通手段がないといった理由でこうしたお手伝いを利用できないこともあります。そのような場合、当館では職員が直接学校まで出向く「出前講座」があります。

「出前講座」は各校の学習の目的によって内容が異なるので、学校の先生との打ち合わせを通して、学習内容や体験する民具などを決めていきます。例えば、「昔のくらし」をテーマにすると、180年くらい前の昔の人が畑仕事で使っていた道具や収穫物を運ぶための道具などを体験できます。また、市内の文化財や年中行事のうち、各校の校区内に残っているものについても講座を行っています。「出前講座」は市内の学校を対象に行っていますが、これまで中学校からの申込みはありませんでした。

今年度は初めて普天間中学校から申込みがあり、総合学習の時間に講座を行いました。



▲市内中学校での出前講座の様子(2016年)

このように、当館は「出前講座」を通して子どもたちの地域学習のお手伝いをしています。ご質問・ご要望がありましたら、お気軽に博物館までご連絡ください。

【問合せ】市立博物館 ☎870-9317

入館料無料となっておりますので、お気軽にご来館ください。